

メディア関係者各位
プレスリリース

2020年9月29日

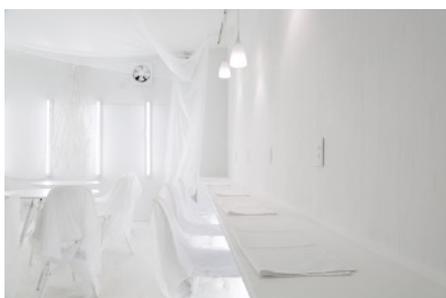
開催されるはずだった卒業制作展をもう一度。
学校の垣根を超えた合同振替卒制展、開催日決定。

#卒業できなかった制作展実行委員会(代表：Ozone合同会社 代表 雨宮優)は新型コロナによる今年3月外出自粛要請により中止された各学校の卒制展に展示されるはずだった作品を公募し「#卒業できなかった制作展」として2021年2月12日~19日に見渡す限り真っ白なギャラリーカフェ、横浜「逃げBar White Out」にて開催いたします。



公式ホームページ

<https://www.sotsuseiten2020.com/>



1



会場写真

◎ #卒業できなかった制作展とは◎

本企画展は新型コロナの影響で中止、あるいは想定していた来場者数が見込めなかった卒業制作展に展示する予定だった学生に対して「逃げBar White Out」をギャラリーとして1週間無料で貸し出し作品を公募し、合同展示の場にしてもらう企画です。2020年5月に開催予定でしたが、緊急事態宣言の発令により延期を余儀なくされ、万全の体制で開催するため2021年2月12日~19日に延期日が決定しました。卒業生たちにとっては約1年越しの卒制展示の場となります。

現在、桑沢デザイン研究所、多摩美術大学など計4つの学校に在籍していた学生から応募をいただき、絵画、刺繍、服飾など形態も学校も超えた合同振替展示会の調整を進めています。下記は展示予定作品の一部です。



(左：imetaso/多摩美術大学出身 右：るや/東京デザイン専門学校出身)

作品公募は現在も行なっております。公募条件、詳細は下記URLをご参照くださいませ。

https://www.sotsuseiten2020.com/pages/3623520/page_202002291746

◎企画から、5月の開催予定日だった日までの物語◎

事の成り立ちは、全国で卒制展が中止となっていることをTwitterで知ったことからでした。3年間かけて作ってきたものが誰の目にも止まらないまま終わるのはいくら何でも悲しすぎると思いました。私はOzoneという1人会社を立ち上げて、主にスペキュラティブデザインとしての音楽フェスをプロデュースをしているのですが、アーティストという生き物が表現にどれだけの時間と熱量をかけているか、そして中止せざるを得なくなってしまった運営(学校)側の気持ちも痛いほどわかりました。卒業という抗えない時間軸の中で、延期すらもできない状況です。

ましてや学生から社会人という本当に大切な時間の最中、何か自分にできることは、と模索していて思い立ったのが「#卒業できなかった制作展」でした。企画をTwitterに投稿したところ1.2万を超えるRTと反響をいただき、有志による事務局が結成されました。

そして、店舗に近い東京、神奈川以外に在住の方にも展示の機会を開けないかと募ったところ、浅草や京都、計5店舗から協力の申し出をいただきました。

その後CAMPFIREにてクラウドファンディングを実施しましたが、期間中に緊急事態宣言が発令され、開催延期が決まったこともあり目標金額は未達に終わりました。

それからは延期日の目処が立たられぬまま時が経ち、事務局メンバーや出展予定だった学生も少しずつ消えていき、それでも何とか開催できる道を探りつつ延期日を決定し、現在に至ります。

学生は時間とともに卒業しましたが、作品は卒業できませんでした。

悔しかった思い出は、時と共に流れていくのかもしれませんが。

ただ、流れたつもりでも心の何処かに引っかかる種の記憶があります。引っかかっている違和感すら麻痺させて、常態化した痛み慣れようとするけど、ふとした時に悲しみが滲んでしまう。そういう記憶に、今年の3月をさせないために何か少しでも、私たちにできることを、と思って始めた企画です。だから、絶対に私たちだけはこのことを忘れちゃいけないし、ちゃんと終わらせることは大切なことなんだと信じて、最後まで全うします。

体験作家/雨宮優



株式会社Cielo 様にご協力いただき発起人、学生達へのインタビュー動画を作成しました。映像リンクはこちら：<https://youtu.be/xHglLavKUS0>

◎新たな企画、公募のご案内◎

今回は卒制展に展示する予定だった元学生たちの旧作に加え、マスクなどの感染予防グッズをアート作品に変えた新作の発表も行います。新作は販売も行い、事態の早期終息と、2021年に卒制展を行う現役の学生達の無事を祈ります。



imetaso(多摩美術大学出身)制作中のデコレートマスク。

また、オンラインでの同時開催、元学生達とのパネルディスカッション、サイレントディスコなど、様々なイベント企画も計画中です。



(左：ito/文化服装学院出身 右：Nanami Mizuguchi/桑沢デザイン研究所出身)

現在下記の応募を受け付けております。

- ・ 卒制展の開催ができなかった、十分な動員を見込めなかった2020年卒の展示公募

https://www.sotsuseiten2020.com/pages/3623520/page_202002291746

- ・ 事務局メンバーの公募(年齢経験不問ですが最後まで責任を持ってコミットできる方に限りです)
- ・ 本企画にご協賛いただける企業様

◎開催概要◎

開催日時：2021年2月12日~19日 12:00~23:00

※開催日1週間前の社会状況に応じて再再延期の可能性がございます。

その場合はHP、公式SNSにてお知らせいたします。

会場：

Cafe&逃げBar White Out

<https://www.nigebar.com/>

店舗住所：

神奈川県横浜市神奈川区松本町6-45-4 市川ビル1階

アクセス：

三ツ沢下町駅(ブルーライン)より徒歩1分

反町駅(東横線)より徒歩10分

横浜駅より徒歩20分

- ・専用駐車場はございません。お近くのパーキングをご利用ください。

入場料：

無料

留意事項：

- ・予定日に開催の場合も濃厚接触を避けるため事前に整理券を配布の上、少人数ずつでの閲覧となるよう制限をさせていただきます。
- ・ご予約方法等は追って公式HP、SNSに追記して参りますのでご来場前にご確認くださいませ。

◎Ozone合同会社◎

“体験作家”雨宮優プロデュースの文芸と祭礼の合同会社。仮想の世界の物語を書き、フェスとして1日だけ具現化するコンセプトで、これまでサイレントフェス®、ダンス風呂屋、“aiが神になった世界”「KaMiNG SINGULARITY」“泥の国”「Mud Land Fest」“全ての命を祀る夜”「Neo盆踊り」など全国各地で計70本以上のフェスを企画開催。 <https://www.social-fes.com/>

【画像資料はお手数おかけいたしますが下記リンクよりご査収くださいませ】

<https://drive.google.com/file/d/1eX9CE4uc5hjJSe-mOR3ukWXvFgC7-fnU/view?usp=sharing>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

#卒業できなかった制作展実行委員会
E-Mail : sotsusei2020.nigebar@gmail.com

or

Ozone合同会社 雨宮
E-Mail : amemiya@social-fes.com